

震災に関する提言

1. 基盤地図と GPS の活用

今回の震災で、被災地の家屋が流失し、復旧するには基盤地図があるところでは、活用が期待され、基盤地図作成時の航空写真、現在の航空写真のマッチングにより、被災の把握、GPS 測量によります、地盤沈下地域の把握などが、基盤地図活用により十分に出来ると思います。幸いに基盤地図はシームレスに整備されていますので、市町村区域をこえて利用可能です。

2. 復興について

復興は、オランダの地域計画が参考になります。基本的に復興はオランダの経済計画、物的計画（地域・国土計画）、社会計画を一体とした総合計画行わなければ、ほとんど復興は不可能です。オランダは台風で同様の莫大な被害を受けましたゾイデル海計画、デルタ計画で復興しました。それは、入り江の海岸を締め切り道路で結んで、内を淡水湖にしてアシを植え塩害および放射能を数年かけて除去し、元の農地に復元し、今や世界有数の農地、酪農地帯になっています。

日本も、八郎潟干拓でオランダ干拓技術を学んでいます。

詳細は、山村悦夫著「地域計画論」pp80-114（大明堂）1980を参照ください。

記名

山村悦夫北大名誉教授